

編集後記

会員の皆様には益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。京土会会報No.50をお届けいたします。本号の編集にあたりましては、例年通り多くの会員の皆様からご寄稿等を頂戴いたし、発行に至ることができました。皆様方の多大なるご支援、ご協力に幹事一同心より御礼申し上げます。

現在、国際的な競争環境下で活躍できる人材の育成が急務の課題と言われております。これまで大学という場では、どちらかと申しますと留学生の受入に力を注いで参ってきており、その結果、会報でもご紹介しましたとおりに、学部、修士、博士をあわせると100名を超える留学生が、現在土木系、環境系に所属するに至っております。一方、国際的に活躍できる人材育成へのひとつの支援としまして、京土会では若手/学生会員研修助成を年2回募集し、海外研修、国際学会での発表時の旅費等を支援しております。この夏の募集に際しましては、例年にも増して多くの学生からの応募があり、多少の驚きを覚えるとともに、短期研修とはいえ次代を担う多数の学生が海外経験を積むことを、自ら積極的に希望していることに頼もしさも感じました。

なお、過年度に総会でお認めいただきました内容に従いまして、24年度に入学しました学部1回生より、学生会員としての会費の徴収を開始いたしております。これに伴い学生会員へのサービスのさらなる充実を図るとともに、OB会員の皆様と学生会員とが世代を超えて交流を図ることができる場の創出も心がけて参りたいと考えております。また、京土会の活動に対しまして、会員の皆様から幅広いご意見をお寄せいただき、今後の方向性について、議論を深めて参りたいと考えております。どうかよろしく願いいたします。

今後とも会員の皆様には、京土会の活動に関しますご協力をお願いすることになると存じますが、なにとぞご支援、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。

平成24年度 幹事

宇野 伸宏、立川 康人、平井 康宏